

ETJP Working Group の考え方について

2003年12月8日

ETJP事務局

- Working Groupは、会員間で、ある特定のテーマについて、相互実験やディスカッション行う必要がある場合に発足させることができます。
- Working Groupの目的を完了したら、得られた成果についてはETJPに報告後、解散します。
- 会員により自由に設置できます。

- 発足したWorking Groupは、自ら定めたマイルストーンにより活動を行います。
- 進捗状況については定期的に行われる「全体ミーティング」の場で適宜発表することとします。
- ETJP報告書作成の際には、活動内容と成果について、該当部分の報告書を作成します。

- 指定のフォームで必要事項をETJP事務局<sec@etjp.jp>へ届け出ます。
 当該WGのチェアが誰であることを明確にし、簡単なWGの趣意書(Charter)を作成します。
 設立趣意書には、WGの活動目的と成果、並びに活動のマイルストーンを記載します。
 事務局で、WG専用のメーリングリストを用意することができますので、必要な場合は、設立趣意書にその旨を記載します。
 この設立趣意書は、ETJPのホームページ (<http://etjp.jp/>)に公開します。
- メンバーの追加加入に関しては、ETJPの設立趣意に則り、原則自由ですので、既存WGメンバーのご判断をよろしくお願い申し上げます。
 WGの検討内容によっては、ETJP会員以外の専門家等を交えて議論する必要性もでてくるかと思いますが、これに関してもWGにお任せします

=====

Working Group 設立趣意書 (sec@etjp.jp に送付して下さい)

- 1) Working Group名 :
 - 2) チェア氏名(所属) :
 - 3) 参加団体名 :
 - 4) 連絡先 E-mail アドレス :
 - 5) 活動の概要 :
 - 6) 活動のマイルストーン :
 - 7) 活動の成果 :
 - 8) メーリングリスト名(必要な場合):
- =====

- Working Groupがその目的を完了した場合、速やかにチェアがETJP事務<sec@etjp.jp>へ報告と届出をすることで、解散したとします。